

# 都城市立図書館

〒885-0071 宮崎県都城市中町16街区15号  
電話 0986-22-0239 ファクス 0986-22-0251  
info@mallmall.info  
http://mallmall.info/library.html

## 利用案内

開館時間 9:00-21:00  
閉館日 定期休館 なし (ただし、施設の保守点検、図書整理等に併い臨時休館することがあります)

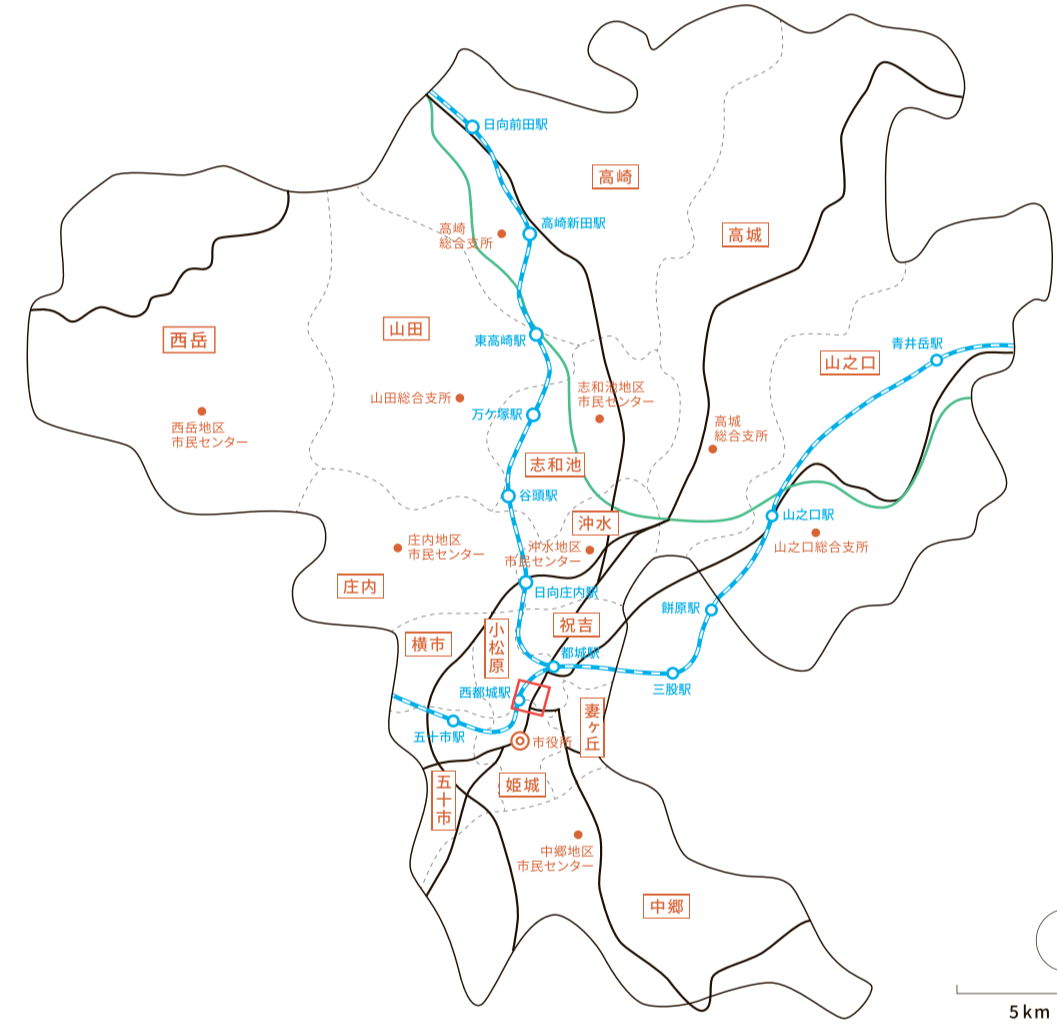
## 赤ちゃん連れの方・お身体の不自由な方へ

ベビールーム (授乳室)、おやこトイレ、だれでもトイレがあります。ようこそデスクで、貸出用車椅子、貸出用ベビーカー、AED (自動体外式除細動器) を備えています。  
お手伝いが必要な方は、入り口にあるインターフォンでスタッフを呼び出してください。  
目の不自由な方で館内へのご案内が必要な場合は、視覚障害者誘導用ブロックに従って、ようこそデスクにいらしてください。  
活字文書読み上げ装置、拡大読書器、スタンダーペを備えています。

## 諸元データ

敷地面積：5,366平方メートル  
建築面積：4,815平方メートル  
延床面積：8,046平方メートル (未来創造ステーション部分は除く)  
座席数500席以上、所蔵資料約30万冊 (うち、開架約14万冊)

## 都城市全図



## 図書館周辺市街地



## 交通

電車：JR西都城駅から徒歩12分 タクシー4分  
車：[鹿児島方面から] 国道10号「中町」を右折し、次の交差点を左折すると標識あり  
[高城方面から] 国道10号 鹿児島銀行前を左折し、次の交差点を右折すると標識あり  
中核施設附帯駐車場218台 図書館利用者は最長3時間 (2施設以上6時間) 無料  
バス：「市立図書館前」「中央待合所」「中央通り」バス停下車すぐ

## 空間の記憶

既存の社会資本の有効活用がますます求められています。図書館の建物も、ショッピングモールとしてつくられた建築の再生 (リノベーション) であり、転用 (コンバージョン) です。転用とは、言い換えれば「見立て」です。「見立て」とは物事の意味の創造的な読み替えであり、日本の美学でもあります。例えば、枯山水庭園において敷き詰められた白い玉砂利は、川や水面に見立てられます。今回は、ショッピングモールを図書館に「見立て」たと言えます。かつての商業施設は構造体を残して解体され、内外装が更新されて公共施設=図書館として生まれ変わりましたが、その空間自体にも、わたしたちのまちの歴史や記憶が宿っています。図書館内のそれぞれの場所が、ショッピングモールのどんなところだったのか想像し、思い出しながら、散策してみたいかがでしょうか。



## 発見と創造を支える空間

人々が自由に行き交い、個々の興味に応じた「だいじなもの」の発見を支える場の実現のため、中心を貫く廊下部分を人々が賑やかに行き交う市場のストリートに見立て、木箱架がずらりと並ぶ楽しいショップフロントをつくりました。ストリートを散策しながら、ふと一冊の本に惹かれたら、あたたか専門店に足を踏み入れるように、ぜひその奥へお進みください。分野ごとに明解に分類し配架された一般書架が整然と並んでいます。インテリアは、地場産材を中心とした杉やクスノキの素の木材の存在感が最大限感じられるよう、素材や配色を慎重に検討しました。例えば、1階は黒・グレー系で内装をまとめ、ホテルのラウンジのような落ち着いた色調のなか、木製の家具や本が浮き上がるような空間としています。利用者のみなさんとともに、地域の文化や記憶を継承し、新たな創造を育む図書館にふさわしい場に発展していくことを願います。

アイダアトリエ 会田友朗 (空間デザイン総合監修)



## Mall Market

### カフェショップについて

小さな1店舗なのに、「市庭 (いちば)」という名前です。おかしいですか? でもこれには理由があります。市庭には、「いいもの」を誰かに届けたいという人が集まります。市内で「いいもの」を生産している人 (1次産業者)、「いいもの」に加工している人 (2次産業者)、「いいもの」を扱っている人 (3次産業者)。みんなが連携 (6次産業化) して、みやこんじよの「いいもの」を見たり目や浮いた言葉の宣伝広告ではなく、「いい」点をきちんと伝え合っていく場。いいものを見つけに人が集い、食を通じて交流し、新しい地域の姿を創造していきます。



## 家具がつくる空間

ショッピングモールの大空間を生かして壁はなるべくつくらず、書架をはじめとした大小の家具によって、多様な場を生み出すデザインとしています。プレススタジオの展示台や、MAGAZINE WALLのような特徴的な家具に加え、野菜や果物を入れる市場の木箱のように、自由に並べ替えることのできる木箱架を、都城家具工業会の協力のもと開発しました。全国の約80%が九州に産生している、防虫効果のあるクスノキの特徴的な木肌を生かした箱型の書架です。おすすめ本を並べたり、季節やテーマに応じた配置をしたり、創造性に富んだ図書館の象徴ともいえます。その日の木箱架に並んだ本やメッセージカードを眺めながら歩くだけでも、きっと多くの発見があることでしょう。



# MIYAKONOJO CITY LIBRARY

## 都城市立図書館

「本は書かれていた内容より、読んだときに『名付けようもない大事なもの—something』を思い起こすことがある。それが大切だということを、この歳になって、ようやく気づきました。」  
(長田 弘 2011年講演会「本とは何か」より。1939-2015、詩人、児童文学作家、文芸評論家、翻訳家、随筆家)

ひとりひとりが『だいじなもの』を  
みつけていくために

だいじなもの。

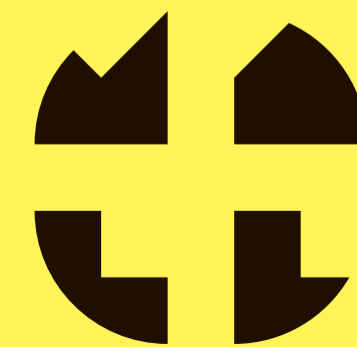
それは、思い出だったり、美しい場所だったり、  
憧れるモノだったり、大切な人だったり、  
継いでいくべき技であったり、  
夢や希望といった見えないものもある。

ひとりひとりが自ら『だいじなもの』を見つけていく活動、  
表現していく活動——

これが、日々の暮らしをいきいきとさせ、

地域の文化や生業、まち、風土といったものの  
継承や発展、より創動的な創造につながる。

そのための、私たちの図書館。



### サービス一覧

本の貸出・予約・リクエスト  
本の検索、調べものお手伝い  
子ども、青少年の居場所づくり  
おはなし会、読み聞かせ支援  
学校図書館の支援  
移動図書館車の運行

団体貸出、文庫活動支援  
対面朗読・録音スタジオの運用管理  
地域のためのコンテンツ編集・管理  
各種展示会や映像コンテンツの上映  
講座、講演会などイベントの開催

### シンボルマーク

ショッピングモールとしてつくられた建物が図書館に生まれ変わりました。  
そこでMALLという文字を使った丸い形のシンボルマークが、中心市街地中核施設の愛称Mallmallのロゴデザインや図書館内のサイン表示を担当したグラフィックデザイナー 井口仁長氏によってデザインされました。

生きがい・広がる・図書館。  
Miyakonojo Augmented Library for Living

